

～沼津市地震・津波ハザードマップの改定～

改定した**沼津市地震・津波ハザードマップ**を配布します

要 旨

本市の津波浸水想定域が津波災害警戒区域(イエローゾーン※1)に指定され、津波に対する安全な高さがより明確になったことから、市民に情報を周知し避難に役立てていただくため、「沼津市地震・津波ハザードマップ」を改定しました。

このハザードマップは、全市版と津波避難訓練対象区域の地区版(第二・第三・第四・静浦・内浦・西浦・戸田地区の各区分)があり、全市版は危機管理課窓口にて配布、地区版は該当地区へ2月15日号の広報ぬまづと同時に配布します。また、市ホームページに掲載します。

(※1)イエローゾーンとは、津波から「逃げる」ことができるよう、警戒避難体制を特に整備すべき区域として県知事が指定する区域です。イエローゾーンでは基準水位が示されています。

概 要

<主な改定点>

[地区版]

・ 現行の津波浸水深に準じた浸水域の色分け表示を、基準水位(※2)に準じた色分け表示に改定。

(※2)基準水位とは、津波浸水想定浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がりの高さを加えた水位です。

これまでの津波浸水域に変更はありません。

[全市版・地区版両方]

- ・ 津波災害警戒区域(イエローゾーン)と基準水位の説明項目の追加
- ・ 情報の入手先(沼津市公式防災アプリや同報無線自動応答システム等)の掲載。

<ハザードマップの特徴>

[全市版]

・ 表面では津波浸水想定域・震度分布・避難場所を掲載し、裏面では液状化危険度を掲載しています。

[地区版]

・ 表面では想定津波到達時間・津波浸水想定域・津波避難ビル・避難路を掲載し、裏面では、ハザードマップの使い方として基準水位の目安や危険度等を掲載しています。



お問い合わせ先

沼津市役所 危機管理課
直通:055-934-4803



保存版

県第4次地震被害想定 地震・津波 ハザードマップ

全市版

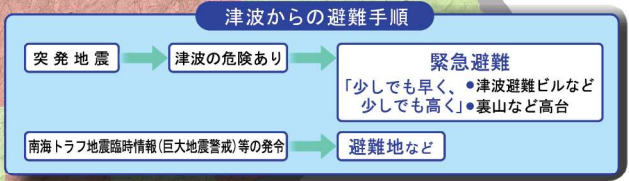
沼津市(改定版)



凡例		凡例	
	第4次地震被害想定津波浸水域の境界※1		想定される地震の震度
	津波災害警戒区域(イエローゾーン)の境界※3		震度5弱
	津波避難訓練対象区域の境界※2		震度5強
	●施設名 避難地・避難所		震度6弱
	○施設名 避難地		震度6強
	○施設名 避難所		
	4.3m 津波高(第4次地震被害想定)		
	海岸堤防		
	17.0 海岸堤防・河川堤防高(m)		
	4.0 海拔(m)		
	0.5km 海岸との距離		
	▲津波避難タワー		
	▲津波避難マウント		
	▲築山		

※1~3の内容は裏面に記載しています

凡例	
	想定される地震の震度
	震度5弱
	震度5強
	震度6弱
	震度6強



- ① 避難地 災害が発生し又は発生する恐れがある場合に、緊急的に身の安全を確保するための場所で、グラウンドなど屋外の広い場所を指定しています。避難地には防災倉庫があり、市の職員が配置されます。なお、地震発生までに時間的余裕がある場合には、津波からの避難のため、さらに沿岸から離れた避難地等へ逃げることも重要となります。突発地震にもなる津波からの緊急避難は、津波避難ビルや津波避難路等を利用して「少しでも早く、少しでも高いところ」へ逃げて下さい。
- ② 避難所 地震や津波などの災害発生後、自宅が被災し生活することができない人が避難生活をする場所で、主に学校等の公共施設になります。運営は自主防災組織が中心となり、生活の場を提供するほか、給食、給水、情報の提供などの機能があります。

● このマップは、静岡県第4次地震被害想定における最大の震度分布(250mメッシュ)を基にしています。裏面には「液状化」に関する情報を掲載しています。

■ 最新の情報は市ホームページ <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>「危機管理情報」を参照下さい。

沼津市公式防災アプリ

「沼津市公式防災アプリ」は、防災関連情報や防災マップの確認、安否登録機能等を備えた防災アプリです。災害発生時・平常時を問わず無料でご利用いただけます。日頃から危機管理情報取得する手段としてご利用ください。

沼津防災

アプリは左記QRコードからインストールしてください。

同報無線 自動応答システム

055-955-5255

地震発生時に、同報無線が聞き取りにくく、避難指示等を聞き逃してしまった場合に、こちらの番号におかけいただくと、自宅の電話や携帯電話から、放送した内容をもう一度確認いただけます。

沼津市危機管理情報メール

登録した皆さんに市が把握している危機管理情報を配信しています。地震発生時の情報収集のため、事前に登録してご利用ください。

下部QRコードから登録してご利用ください。

情報の入手先





保存版

県第4次地震被害想定

液状化 ハザードマップ

全市版

沼津市(改定版)

凡例

- 第4次地震被害想定津波浸水域の境界 ※1
- 津波災害警戒区域(イエローゾーン)の境界 ※3
- 津波避難訓練対象区域の境界 ※2
- 市公共施設、市学校施設
- 津波避難タワー
- 津波避難マウント
- 築山

陸域での液状化危険度

- 大 ※色が付いていない場所は、液状化の危険度が「ない」及び「対象外」
- 中 ※陸域にかかるメッシュが小さい場合、海域も含めたメッシュを表示しています。
- 小

地盤の液状化現象に対する留意点

この地図は、静岡県第4次地震被害想定における液状化危険度を示しています。「液状化」とは、地震により地盤が一時的に液体のような現象のことです。海岸の埋立地や河川沿いなど、砂質地盤に加え、地下水位の高い場所で発生しやすく、地中からの泥水の噴出や地盤の沈下によって建物が傾倒及び転倒する恐れがあります。液状化現象は、隣接する土地でも地震の規模や揺れ方などにより被害の現れ方が異なるため、この地図では危険度を「大・中・小」で表記しています。現在お住まいの土地の地盤を、より詳しく知るためには、「静岡県統合基盤地理情報システム(GIS)」(<http://www.gis.pref.shizuoka.jp>)などを参考にご自身で確認していただく必要があります。また、新たに建物を建築する前には地質調査等を十分に行ってください。



ハザードマップの表示区域について

- ※1 第4次地震被害想定津波浸水域
静岡県が南海トラフ沿いで発生する地震に備え策定した第4次地震被害想定で、津波が浸水すると推定される最大の区域です。
- ※2 津波避難訓練対象区域
東日本大震災後の平成23年度に、沼津市でこれまで最も大きな被害を受けた安政東海地震(1854年)の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策や津波避難訓練に取り組みます。
- ※3 津波災害警戒区域(イエローゾーン)
・警戒避難体制を特に整備すべき区域です。
・図中の青線が、津波災害警戒区域(イエローゾーン)に指定されています。
・区域内では、津波浸水想定に津波が建物等に衝突した際のせり上がりの高さを加えた水位(基準水位)が示されます。基準水位の詳細は、地区別版ハザードマップをご確認ください。

津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
本町地区	本町一丁目、本町二丁目
第二地区	下河原西町、下河原南部、下河原東部、千本常盤町、旭町、千本緑町、宮町、幸町、港湾区、下河原団地
千本地区	市道町、松下町、東間町、西浜町
第三地区下香貫[一部]	西村町、宮本町、神明町、馬場町、第二宮脇、石原、楊原、塩満、西木の宮、東桃郷、二瀬川町、藤井原町
第三地区中	塩場、島郷、牛臥、八間町、東八間町、西島町、三貫地
第三地区我入道	江川町、東町、一本松町、津島町、浜町、林町、稲荷町、秋葉町、南条寺町
第四地区東[一部]	住吉町、南本郷町西、玉江町
第四地区西	御幸町、三園町、市場町、通吉田町、吉田町、永代川瀬町、横島北町
静浦地区	志下、馬込、獅子浜、江浦、多比、口野
内浦地区	重寺、小海、三津、長浜、重須
西浦地区[一部]	木負、久連、平沢、立保、古宇、足保、久料、江梨
戸田地区[一部]	鬼川、小中島、大中島、一色、入浜、口南、奥南、大浦、御浜、小山田、井田

このマップは、静岡県第4次地震被害想定における液状化可能性分布(250mメッシュ)を基にしています。表面には「地震・津波」に関する情報を掲載しています。最新の情報は市ホームページ <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>「危機管理情報」を参照下さい。また、ハザードマップについてのお問い合わせは、「沼津市危機管理課 056-934-4803」までお願いします。

津波 ハザードマップ

沼津市(改定版)

第二地区
本町地区
千本地区

津波避難施設：72ヶ所



まず確認

- あなたのお住まいはどちらですか？
- 最寄りの津波避難施設を探しましょう

(例)二29 第二小学校

千本地区

本町地区

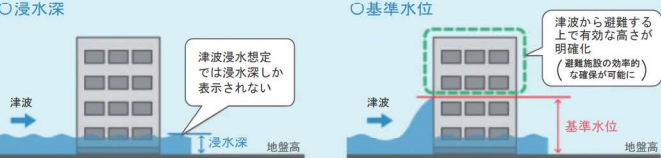
第二地区

凡例	
	※1 地震発生から 10分
	陸域での津波の浸水深が 30cm となる時間
	※2 地震発生から 20分
二1	津波避難ビル番号 (裏面参照)
	受入可能人数 1000人以上
	津波避難ビル 受入可能人数 100人~1000人
	受入可能人数 100人未満
	築山
	津波避難訓練対象区域の境界 ※3
10.8	海岸堤防・河川堤防高 (m)
5.0m	海岸部の想定津波高
6.0	海拔 (m)

凡例：津波災害警戒区域 *1 (基準水位 *2)	
0.01	0.3
0.5	1
2	4
(m)	

<*1津波災害警戒区域 (イエローゾーン)>
 津波災害警戒区域 (イエローゾーン) とは、津波災害を防止するため警戒避難体制を特に整備すべき区域であり、区域内では基準水位が示されます。沼津市では、図中の凡例の着色色が、津波災害警戒区域 (イエローゾーン) に指定されています。

<浸水深と*2基準水位>
 基準水位は、津波浸水想定での浸水深に、津波が建物等に衝突した際のせり上がりの高さを加えた水位で、津波に対して安全な高さを示しています。なお、基準水位は津波浸水想定における浸水深と同様、地盤面からの高さ (水深) で表示します。



※1 海岸部の津波高、陸域の津波浸水深及び到達時間は、県第4次地震被害想定における最大の津波想定をもとにしています。
 ※2 津波の基準水位が30cm以上になると、人命に影響する恐れがあります。基準水位の目安及び危険度については裏面を参照してください。
 ※3 津波避難訓練対象区域とは、東日本大震災後の平成23年度に、沼津市でこれまで最も被害を受けた安政東海地震 (1854年) の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策や避難訓練に取り組む区域です。

■ 地震・津波から身を守るために

突発地震発生

まず身の安全を確保

津波の危険

「少しでも早く! 少しでも高く!」

津波から 避難場所 高台(避難路などで高台に避難)、津波避難ビル

避難するときの注意は?

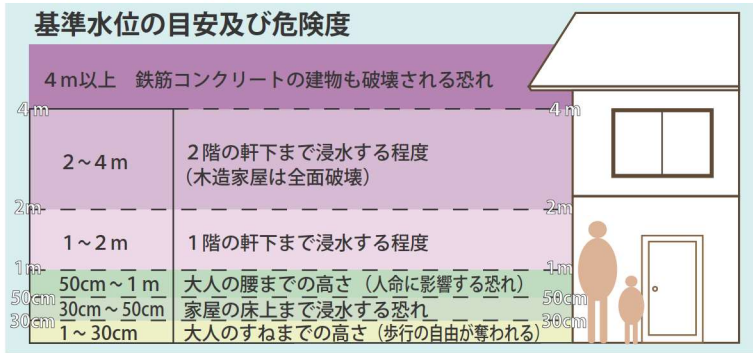
- 1 我が身の安全を最優先
- 2 津波災害警戒区域の外へ逃げる
- 3 車による避難は原則禁止

いつまで避難するの?

- 1 津波警報、注意報が解除されるまで避難場所にとどまる
- 2 波が引いてもすぐ戻らない
- 3 津波は第2波以降が最大の場合もある

■ ハザードマップの使い方①【基準水位の目安及び危険度】

このハザードマップは、地震で津波が発生したときに予測される基準水位を色別で表しています。基準水位の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場、学校がどの程度浸水するのか、またどの程度の危険があるのか確認して下さい。



■ 津波避難ビル

地震発生後に津波から避難する際は、時間の猶予がないことから、高台への避難が不可能となる場合があります。近くに高台がないなどの場合は津波避難ビルをご利用ください。津波避難ビル一覧は下記のとおりです。津波避難ビルには右記の標識(※1)が掲げられているため、日頃からお近くの避難ビルを確認し、地震発生時に避難できるようにしましょう。また、避難ビルによっては、避難できる時間帯が限られる場合があります。避難訓練の際などに確認するようにしましょう。

※1 津波避難ビルの中には、都合により標識が掲げられていない施設があります。



■ 津波避難訓練 対象区域の自治会

連合自治会	津波避難訓練対象区域の自治会
第二地区	下河原西町
	下河原南部
	下河原東部
	千本常盤町
	旭町
	千本緑町
	宮町
	幸町
	港湾区
	下河原団地
本町地区	本町一丁目
	本町二丁目
千本地区	市道町
	松下町
	東間門
	西浜町

■ 津波避難ビル一覧

No.	施設名	建物階数	外階段	No.	施設名	建物階数	外階段	No.	施設名	建物階数	外階段
二一	モン・ミュゼ沼津沼津市庄司美術館	3	無	二二七	めぞん千本	3	有	二五五	沼津魚類協同組合市場冷蔵庫	3	無
二二	聖隷沼津健康診断センター	3	無	二二八	沼津市立第二小学校	3	有	二五六	ぬまつみなとパーキング2号棟	5	有
二四	聖隷沼津病院A棟	6	有	二三〇	ルピナス下河原	4	無	二五七	沼津魚類協同組合製氷工場	5	有
二五	芙蓉協会 管理棟	4	有	二三一	千本エレガンス	4	無	二五八	沼津水産(株)外港冷蔵庫	3	無
二六	コーポラス高野	3	有	二三二	モンシャトー沼津千本	5	有	二五九	沼津市中部浄化プラント(水処理棟屋上)	2	有
二七	千本公務員宿舎	3	有	二三三	FLAT YOU千本	5	有	二六〇	ピラシーフロント	4	有
二八	リーフグリーン	3	有	二三五	エンゼルハイム常盤町	4	有	二六一	港湾区自治会館	2	有
二九	オリゾンブルー	3	有	二三六	ブルミエール下河原	5	有	二六二	コモドアビターレ	3	有
三〇	MANISH	3	無	二三七	やいづ屋商会	3	無	二六三	シーショア・下河原	4	有
三一	ゲストハウス	4	無	二三八	コーポ鈴木	3	有	本一	村松マンション	3	有
三二	エクセレントプラザ沼津	5	有	二三九	ダコタ・ハウス	5	無	本二	コーポ寿山	4	有
三三	東栄ビル	4	無	二四〇	エンゼルハイム下河原	7	有	本三	シャリエ沼津御成橋	15	有
三四	リバーサイドマンション	4	有	二四一	千本ウェストコープ	3	有	本四	メゾン・グランツ沼津浅間	13	有
三五	エンゼルハイム旭町	4	有	二四二	ミルウエスト	3	有	千一	県営住宅千本団地	4	有
三六	旭町シティープラザ	5	有	二四四	アージェント千本	5	無	千二	パレスシーサイド	3	有
三七	サーラシティ千本	5	有	二四五	(株)マルヤ水産社員寮	3	有	千三	植松Yコーポ	5	有
三八	ヴィラシャルマン	3	有	二四六	橘水産(株)	4	有	千四	メゾンM2	3	無
三九	トキワマンション	3	有	二四七	パレードル沼津	6	有	千六	沼津市立第二中学校	4	無
四〇	アサヒハイツ	4	有	二四八	エステート・アベ	5	有	千七	沼津市立千本小学校	4	無
四一	マンションコルティエラ下河原	4	有	二四九	沼津市中部浄化プラント(管理棟)	3	無	千八	静岡県立沼津西高等学校	4	無
四二	(有)マルリ商店	3	無	二五〇	沼津港大型展望水門びゅうお	約30m	有	千十	野田米店	3	無
四三	アイビス不動産	3	無	二五一	ポートブリッジマンション	4	有	千十一	植松邸	3	無
四四	隆魚商店	3	無	二五二	(株)五十嵐水産製原工場	3	無	千十二	エンゼルコート88	3	有
四五	ヴィラ千本	3	有	二五三	羽野水産(株)本社	3	無				

※ 避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビルがあります。また、外階段が「有」となっているビルでも扉がついている場合もありますので、訓練のときに確認しましょう。

令和5年11月現在

■ ハザードマップの使い方②【避難経路を確認しよう】

あなたのお住まいはどちらですか?

最寄りの津波避難施設を探しましょう

(例)二二九 第二小学校

最寄りの津波避難施設までの避難経路を確認しましょう

避難経路を選ぶポイント

徒歩で避難することを前提に、避難経路を選びましょう

- 津波は河川をさかのぼってきます。河川を渡る、近くを通るのは避けましょう
- 地震で建物やブロック塀などが倒れても通行できる広い道を選びましょう
- 夜間、停電時でも安全に通行できる目印のある道路を選びましょう

あなたの設定した避難経路を実際に歩いてみましょう

【気付いたこと】

【所要時間】

分

避難経路を歩く時のポイント

- あなたのお住まいから津波避難施設までの時間を確認しましょう
- 河川やブロック塀など、避難する時に障害となるものがないか確認しましょう
- 避難施設にたどり着く前に浸水が始まってしまった場合のために、近くにある避難施設となりそうな建物(鉄筋コンクリート造で3階以上)も確認しましょう

あなたのお住まい以外で、日頃よく訪れる場所(通勤通学先やスーパー等)からの避難経路も同じように考えてみましょう

■ 情報の入手先

沼津市公式防災アプリ

「沼津市公式防災アプリ」は、防災関連情報や防災マップの確認、安否登録機能等を備えた防災アプリです。災害発生時・平常時を問わず無料でご利用いただけます。日頃から危機管理情報を取得する手段としてご利用ください。



アプリは左記QRコードからインストールしてご利用ください。

Androidの方



iPhoneの方



同報無線 自動応答システム

055-955-5255

地震発生時に、同報無線が聞き取りにくく、避難指示等を聞き逃してしまった場合に、こちらの番号におかけただくと、自宅の電話や携帯電話から、放送した内容をもう一度ご確認ください。

沼津市危機管理 情報メール

登録した皆さんに市が把握している危機管理情報を配信しています。地震発生時の情報収集のため、事前に登録してご利用ください。

下記QRコードから登録してご利用ください



保存版

沼津市危機管理課 055-934-4803